

鳴門教育大学創立40周年記念特別シンポジウム

明日のための“防災教育”を考える
教師として、社会人として“できること”“すべきこと”

本学は、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を進める「教員のための大学」及び学校教育の推進に寄与する「開かれた大学」として、1981（昭和56）年10月1日に創設されました。開学40周年を迎え、南海トラフに沿う地域に立地する大学として、今日的な課題である「防災教育・復興教育」、そして、コロナ禍の中でクローズアップされた「ICT・遠隔教育」の先進的な取り組みをこの機会に広く内外に示すこととしました。

日時

令和3年

11月3日（水・祝）9:30～16:00 9時開場

会場

午前 講堂、午後 講義棟1階各教室

定員

100名 参加費無料

なお、パネルディスカッション及び午後のワークショップには、オンライン参加が可能となっております。申込み後、接続方法については別途ご連絡します。



日程

- 9:00 受付
- 9:30 開会挨拶 山下一夫 鳴門教育大学長
- 9:45 趣旨説明（総合司会 阪根健二特命教授）
- 10:00 防災教育・復興教育パネルディスカッション
「命と心を守る防災教育とは」
コーディネーター
藤村裕一（鳴門教育大学大学院教授）
パネリスト（五十音順）
菊池のどか氏（釜石市「株式会社8kurasu」防災教育推進担当）
谷村千絵氏（鳴門教育大学大学院准教授）
森本晋也氏（文部科学省総合教育政策局安全教育調査官）
吉田有礼氏（徳島県美馬市立脇町小学校校長）
遠隔参加助言者
小松山浩樹氏（岩手県教育委員会学校調整課産業・復興担当主任指導主事）
指定討論者
阪根健二（鳴門教育大学大学院特命教授）
- 12:00 閉会挨拶 大石雅章 理事

12:00 昼食・休憩

13:00

ワークショップ及び展示

- 第1分科会 前半：「学校災害シミュレーションプログラム体験」
後半：①「学校防災計画の見直し」（対教職員）
菅原弘一氏（仙台市立錦ヶ丘小学校校長）
神谷貴子氏（那覇市教育委員会指導主事）
②「防災・復興教育の見直し」（対子ども）
小松山浩樹氏（岩手県教育委員会学校調整・復興担当主任指導主事）
村上啓二氏（広島県福山市立増遠中学校校長）
- 第2分科会 「新しい防災のかたち、フェーズフリー」
①鳴門市の小・中学校のフェーズフリー実践紹介
②考える防災×考える人権「ジレンマほぐし」体験
- 第3分科会 「避難所での子どもの対応」（おもちゃ王国との産学共同研究）
①避難所を再現
②開発された玩具で遊ぶ

16:00

終了

・第1分科会 及び 第2分科会は オンライン参加 が可能です。
・第3分科会はお子様の遊び場として
9:30から16:00まで開場しています。



パネリスト・助言者紹介（五十音順）



菊池 のどか（きくちのどか）氏

東日本大震災当時、釜石東中学校に在学、防災担当委員会の委員長として生徒主体の率先避難行動を行った。震災伝承施設・釜石市「いのちをつなぐ未来館」で語り部を務め、この春、地元の復興支援のために株式会社「8kurasu」を起業。
（写真：3.11メモリアルネットワーク より）

（遠隔参加助言者）

小松山 浩樹（こまつやまひろき）氏

復興教育担当者として、3つの教育的価値「いきる」、「かかわる」、「そなえる」を育む「いわての復興教育プログラム」、「副読本」の改訂に携わり、復興教育を推進している。

菅原 弘一（すがわらこういち）氏（第1分科会助言者）

仙台市立六郷小学校が津波被災校・東六郷小学校を統合する折りに校長を務め、地域再発見活動に力を入れる。指導主事として、「たくましく生きる力」育成プログラムの作成にも携わった。

（コーディネータ、指定討論者）

藤村 裕一（ふじむらゆういち）氏

東日本大震災直後から大学院生と被災地に通い続け NHK 等で防災教育デジタル教材を提供している。遠隔教育プログラムの現職院生とともに、学校防災シミュレーションプログラム等も開発。首相官邸（内閣官房）「教育再生実行会議初等中等教育ワーキンググループ」委員等を歴任。

阪根 健二（さかねけんじ）氏

鳴門教育大学大学院教授（地域連携センター所長）を経て、現在特命教授（名誉教授）として、学校危機管理、防災教育などを担当。産学共同研究の「おもちゃ王国」プロジェクトでは、本学学生とともに避難所での子ども支援も視野に入れて活動している。

谷村 千絵（たにむらちえ）氏

東日本大震災の翌年から鳴門市の幼稚園・小学校で、大学院生とともに防災教育の出張授業を展開（2016年まで）。2014年より徳島県人権教育指導員（災害と人権）、2019年より文部科学省委託学校安全総合支援事業の推進委員・実践委員（防災）を担当。

森本 晋也（もりもとしんや）氏

香川県出身。東日本大震災の前年まで釜石東中学校に勤務し、防災学習を担当した。「EAST-レスキュー」の防災教育プログラム作成や、津波の速さ（時速約36Km）で学校のグラウンドに車を走らせ、その速さを体感する授業など注目される取り組み多数。震災後、岩手県教育委員会で「いわての復興教育」に携わり、岩手大学准教授を経て、現職。

吉田 有礼（よしだありのり）氏

元徳島県教育委員会教職員課統括管理主事。徳島県教育委員会教職員課在職時、東日本大震災の被災地女川町に派遣され、復興支援に携わる。

新型コロナウイルス感染症対策のため、

事前予約のみの受付となります。

定員を限定していますので、メール・電話のいずれかでお申し込みください。

※マスクのご着用等、感染症対策へのご理解、ご協力をお願いします。
新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、やむを得ずWEB配信とさせていただきます場合があります。
（10月20日（水）時点で、開催方法について、**本学WEBページ**で周知します。）

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しています！



ご入場の際、検温を非接触型体温計にて実施します。
検温の結果、**37.5度**以上の発熱がある方は、入場をお断りさせていただきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

お申し込み・問い合わせ先

● 国立大学法人鳴門教育大学総務部総務課総務係

MAIL soumu@naruto-u.ac.jp

TEL 088-687-6014

※ お申し込みいただいた個人情報は適切に管理するとともに、参加登録以外では使用しません。

メールでお申し込みの方は、下記情報を記入してください。電話でお申し込みの方は、下記情報をお伝えください。

10月15日（金）
×切
先着順

お名前		連絡先 （必須）	電話番号	参加方法	<input type="checkbox"/> 来場希望
所属			E-Mail	<input type="checkbox"/> オンライン	

※ 1. ワークショップ等の参加希望（ 第1分科会, 第2分科会） ※ 2. お子様同行の有無： 有, 無

※ 1 全日、第3分科会にお子様の遊び場を設定しており、スタッフ学生が対応しておりますので、ご自由にご利用ください。

※ 2 オンライン参加の方は、メールにてお申し込み願います。